

報告2 SHIBUYA SLOW STREAMに出店しました

渋谷駅に近接する「渋谷ストリーム」で3月25日(土)・26日(日)の2日間「立ちどまること」をテーマに「SHIBUYA SLOW STREAM」というイベントが開催されました。流れにのっていきことだけでなく、あえてひと呼吸をおき「ゆっくり」と未来を見据えていくイベントで「恵比寿アートコネクト」チームのおかし屋ぱれっと&工房ぱれっと・ワークセンターひかわ・くるるえびすで参加しました。会場に展示する横断幕のデザインには、おかし屋ぱれっとの志村さんが描いた『everyday』というシブヤフォントが採用され、イベント主催者とシブヤフォント事務局、3事業所のメンバーが事前に集まり色を塗りました。ここではなかなか出来ない各事業所のメンバー同士の交流がもてました。志村さんに今回採用された感想を聞いたところシンプルに「嬉しかった」とほほ笑みながら教えてくれました。カラフルに仕上がった横断幕はイベント会場にエッジの効いた彩りを添えていました。

当日は洋服や食べ物、雑貨等様々な物の作り手たちが全国から集まりました。ワークセンターひかわは、しおりや手刺繍のバッチなど、くるるえびすは水耕栽培のレタスやハーブセット、紙小物などを出品されていました。

ぱれっとはクッキーやぬいぐるみなどの販売と、みにらび作りのワークショップを開催しました。桶谷さんと吉井さんが参加して、チクチクと縫い進めている様子は今回のイベントのテーマにと

ても合っている様に感じました。出店されている方のお子さんやふらっと立ち寄られてワークショップに参加して下さった方も、時間を忘れて楽しそうに作っていらっしやいました。

また、今回のイベントで新しい取り組みがありました。「まちたんけん」という授業の一環でおかし屋ぱれっとに来てから交流が始まった広尾小学校の2年生に、このイベントでの販売ボランティアを呼び掛けたところ、5人の参加者が集まりました。子ども達の「いらっしやいませ!クッキーはいかがですか」と元気な声がフロアに響き渡り一生懸命お手伝いをしてくれました。また保護者の方とお話し出来るいい機会にも恵まれました。他の出店者の方から「活気があっていいですね」と声をかけていただきました。以前から目指していた地域の方や子ども達に、障がいのある人達と自然に繋がっていきける、私達が地域に根付く小さな一歩がまた踏み出せました。この小さな一歩を積み重ねていくことがとても大切に感じられたイベントになりました。



「工房ワークショップの様子」

(おかし屋・工房ぱれっと 宮越三映子)